

# 双葉西小だより

令和2年7月17日 文責 学校長 平塚 克人



## 甲斐市教育委員会学校訪問

2日(木)午前中に教育長をはじめとします9名の皆様にお出でいただき、今年度の甲斐市教育委員会学校訪問が行われました。短時間ではありましたが、子供たちの教室での授業の様子を観察していただいたり、学校側代表職員との協議を行ったりしました。協議の中では、たくさんのお褒めの言葉や励ましをいただきました。また、課題点もいくつかいただきましたので、速やかに課題解決に向けての取り組みを行っていきたいと考えています。出されました感想や意見の主なものは次の通りです。

### 〈授業について〉

- 子供たちが落ち着いており、大変良好な授業風景を見ることができた。
- 外国語活動で担任とALTとの連携がとれて授業が進められていた。
- 理科という教科の特性かもしれないが、計画、課題、分析・・・と授業過程がはっきりと分かれている授業は1時間の中でメリハリがあり、分かりやすい。
- 担任の身振り手振りが大きいことが、学んでいる子供たちに良い影響を与えている。
- 花や野菜の写真掲示、理科で個々に観察する植物の写真を持たせる等、写真を上手に使っているのが、大変分かりやすい。
- 児童の発言を担任が確認したり、大型TVによるデジタル教科書の有効活用を行ったりするなど、授業にいくつもの工夫が見られる。
- まだまだ十分とは言えないだろうが、必要な学級や児童に支援の先生が入っている。
- 授業者の工夫を感じた。



### 〈環境面について〉

- 大変恵まれた教育環境(1学級の児童数・学校応援団)の中で、落ち着いて児童が学習できている。
- どの学級も工夫された掲示であった。
- 感染症対策がよく行き届いている。特に決して広いとは言えない保健室を怪我や相談のスペースと、休憩するスペースの2つに分けているところに工夫を感じる。
- HPから日々の学校の様子がとてもよく分かる。大変充実している。

### 〈児童の様子について〉

- 字をおぼえようキャンペーンで訪問した学校再開直後に比べて、1年生が集団としてまとまってきている。
- 学年が上になるにつれて落ち着いた雰囲気がある。
- 発言するときに立った後、椅子を入れてから発言する様子は礼儀正しさを感じる。低学年からの指導の賜だと思う。

### 〈コミュニティ・スクールに関わって〉

- 常に成功(うまくいくこと)ばかりではなく、サツマイモの植え付けのように失敗からのやり直しが大変素晴らしい。
- 臨時休校中の学校応援団による野菜栽培の補助は、本校ならではのありがたいことである。
- コミュニティ・スクールとしての実践の積み重ねを感じる。1月の成果発表会を楽しみにしている。

### 〈課題点〉

- 第2次創甲斐教育に関わる掲示が校内や教室にあるとよい。
- 授業中にマスクをしていない子が数名見られたので、しっかりと着用してほしい。
- 2階、3階の窓下スペースの汚水が不衛生で気になる。排水溝の泥を撤去することで解決するので早急に対応してほしい。
- リコーダー指導の際、マスクをあごまで下げて音出しをしていたが、その後、マスクを鼻や口にかぶせることにより、感染症リスクが高まるという話を聞く。一端、マスクは外す方法が良い。

# 組別集会・縦割り班顔合わせ・縦割り遊び

梅雨の合間をぬって、6月29日（月）に校庭で行いました。最初に青空組と太陽組に分かれての組別集会が行われました。組別集会では、今年度の各組（太陽・青空）の目標と約束が確認されました。太陽組は、「元気いっぱい 笑顔輝く太陽組！」と、目標を読むだけでも力がモリモリとわいてくるような目標です。これに対しまして青空組は、「さわやかに光れ！青空組」と、正々堂々と自分たちのエネルギーが瞬時に発揮されそうな目標です。6年生が玄関前の廊下に掲示してくれました。くじけそうになった時、ピンチに立たされた時、自分の気持ちを奮い立たせようとするときなど、この掲示の前に立って目標を読むことで、きっと、前向きな気持ちになれると思います。

目標と約束の確認後は、各組のリーダー、サブリーダー、縦割り班長、そして担当の先生方の確認もありました。どちらの組もリーダー、サブリーダー、縦割り班長からはもちろん、先生方からも力強い言葉が発せられました。下級生にとっては、6年生が一段と頼もしく感じたことと思います。

その後、縦割り班ごとに場所を移動しての班長、副班長、班員の確認と交流を行いました。1つの縦割り班には1年生から6年生までが数名ずつ所属しているの約10数名で編成されています。きっと、今年も兄弟のように1年間活動していくことでしょう。それでは、この日の活動の様子の一部をご覧ください。



## 学校応援団と共に① ～4年生の学習～

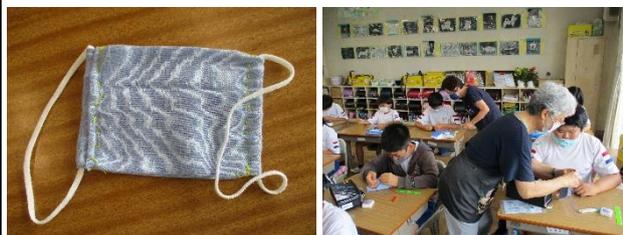
今年も13日（月）に山梨大学の日永先生に指導していただきました。

星座早見盤の使い方や主な星座について、日永先生の優しい語り口と子供たち1人ひとりのつぶやきを丁寧に拾ってくださっての説明により、あっという間の45分間でした。「星座早見盤を家に持ち帰って早く星の観察をしたい。」という声がありました。



## 学校応援団と共に② ～5年マスク作り～

学校応援団の皆様に加え、保護者の方と山本みきよ先生も協力していただき、9日（木）に行いました。手作り感と温かみのある世界に1つだけのマスクが仕上がりました。



## 子供たちの毎日の楽しみ ～双葉学校給食センターからの給食



学校再開後、給食のありがたみを感じているのは子供たちばかりでなく、私たち職員も保護者の皆様も同じだと思います。給食センターで働いている皆様に深く感謝申し上げます。